

子ども期の逆境体験と生きづらさ

日本精神保健看護学会では、**専門職の方々**はもちろん、**当事者の方**や**ご家族の皆さま**を対象に、**無料**でご参加いただける公開講演会を開催しています。精神保健にまつわる最新の知見や実践的な工夫を分かち合い、ともに考える場として、是非ご活用ください！



第1回

2025年12月4日(木)
19:00~20:00

【テーマ】

子ども期の逆境体験(ACEs)と肯定的体験(PCEs)

【講師】

三谷 はるよさん [大阪大学大学院人間科学研究科准教授]

【講義概要】

子ども期の逆境体験(ACEs)とは、虐待・ネグレクトや家族の依存症・精神疾患・DVなど18歳までの養育機能不全を指します。日本でもACEsが累積すると、成人期の心身の疾病や失業・孤立などにつながる事が報告されています。一方、近年は肯定的体験(PCEs)がACEsの悪影響を緩和することも示されています。本講演では、ACEsの影響とPCEsの意義、事例を通して子ども家庭支援の在り方を考えます。



第2回

2026年2月5日(木)
19:00~20:00

【テーマ】

精神障がいの親をもつ子どもの経験と生きづらさ

【講師】

水谷 緑 さん [漫画家]

小林 鮎奈 さん [看護師・公認心理師]

【進行】

横山 恵子 [横浜創英大学看護学部 教授]

【講義概要】

精神障害を抱える親をもつ子どもたちの多くは「ヤングケアラー」として家族を支え、自分の感情や願いを後回しにして成長し、成人後も生きづらさを抱えています。本対談では、漫画家の水谷さんと、子ども当事者の小林さんのお話を通して、子どもたちの実情を理解し、家族支援を考えます。



対象:教育関係者、一般市民、医療福祉関係者
方法:Zoomによるオンラインセミナー
時間:1回60分(講義50分、質疑応答10分)
参加方法:右のQRコードからアクセスし
メールアドレスをご入力ください



問い合わせ先(主催)
日本精神保健看護学会 社会貢献委員会
mail:japmhnsyakai@gmail.com